

30歳の頃、アメリカ・ボストンの研究室に参加。「医学研究者としての考え方を学んだ有意義な3年間でした」と当時を振り返る。

Surgery

# 医療最前線

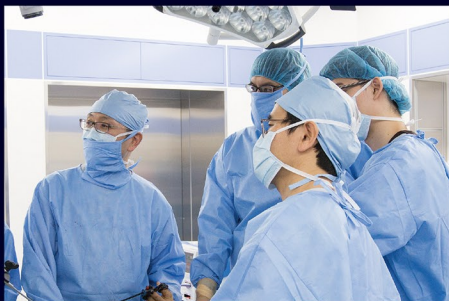
≫ vol.62

川崎医科大学総合医療センター  
外科



Report!

## 全人的な外科治療で 多様な患者のニーズに応える



長年、食道がんをはじめとした消化器外科診療に従事してきた山辻教授。より安全性に配慮した適切な手術を目指して日々の診療に取り組んでいる。

「刀削麺」ってご存じですか。麺料理のひとつですが実は大好物なんです。学会の際はいろんな街の刀削麺を食べ歩いています。それが息抜きかな(笑)。



山辻知樹 教授  
Tomoki Yamatsuji

■ 専門分野

消化器外科、食道外科、がん化学療法

■ 専門医・認定医・指導医

日本外科学会外科専門医・認定医・指導医、日本消化器外科学会消化器外科専門医・指導医、消化器がん外科治療認定医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医・指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本治療学会代議員、日本臨床外科学会評議員、医学士ほか

「総合外科」というカタチで、  
個々の患者に最適な診療を。

「近年、医療の進化とともに多くの大学病院の外科が臓器・機能別に細かく専門分化されてきました。こうした細分化は、専門的な手術・手技の追求にはよい面もあるかもしれませんが、現代の地域医療で求められるオールラウンドかつ全人的な医療を行なう意味では、必ずしも最適な方法とはいえません」と話すのは山辻知樹教授。食道外科、消化器外科などを専門とし、現在は外科部長としてチームを率いている。

全国の病院で内科や外科が専門分化されていく傾向にあるなか、川崎医科大学では、二〇二〇年四月に総合外科学教室を開校。山辻教授は立ち上げメンバーのひとりとして、尽力してきた。「二人ひとりの患者さんを臓器別や疾患別ではなく、「総合的」に診療すること。その背景には高齢化にともない、複数の疾患を抱える患者さんが年々増えており、個々の患者さんに最適な診療を提供するためには、「総合外科」というカタチも必要という判断があったからです」と山辻教授は話す。

二〇二六年十一月、川崎医科大学総合医療センターが開院した際には、ほぼすべての外科診療を行なうことができる体制が整った当科。「患者数の増加に対し、臓器別・疾患別に医局や病棟を細分化させるのではなく、「総合外科」として発展させていきたい」と山辻教授は今後の決意を述べる。

「喜んでもらえる治療」を  
医療チーム全員のチカラで。

現在、川崎医科大学総合医療センターの外科では、消化器外科、心臓血管外科、乳腺甲状腺外科、呼吸器外科などの専門分野に精通した医師たちが日々診療にあたっている。「こうした体制を築くことで、ひとりの患者さんを「全人的」に診ることが可能になりました。加えて次代を担う若い医師たちが、「ひとりの科」でさまざまな知識・技術を学ぶことができます。これにより大学病院が担うべき、「人材育成」という大事な使命を果たすことができるようになりました。」

最後に医師としての心得。「患者さんのために私たちができることは何か。何をすべきかを一つに考えています。患者さんの状況やQOL(生活の質)に配慮した、可能な限り心身への負担が少ない外科手術、喜んでもらえる治療にこれからも医療チーム全員で取り組んでいきます。」

各分野のスペシャリストが結集した総合医療センターの「外科」。各々小さいユニットであってもレベルの高い外科診療や医学研究を目指し、国内外に発信したいという山辻教授。これからの時代にふさわしい「外科」のあり方に、各方面から注目が集まっている。

お問い合わせ  
川崎医科大学総合医療センター  
岡山市北区中山下2-6-1  
086-225-2111  
http://k.kawasaki-m.ac.jp